

平成31（2019）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	国語	科目	国語表現	単位数	2	開講 学年	4
----	----	----	------	-----	---	----------	---

学習概要 および 学習目標	(1) 国語で適切かつ効果的に表現する力をつけ、伝え合う力を高める。 (2) 思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、感じたこと、考えたことを進んで表現する態度を育てる。
---------------------	--

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標	自己評価欄
初年度～ 1学期末	①書いて伝える 1・2・3・4 表現への扉1 ②小論文・レポート入門 1・2・3・4 表現への扉2 ③自己PRと面接 1・2・3・4 ④漢字検定問題練習	①整った文章を書くために大切なことを理解し、書くことや言葉の使い分けに関する文章を読み、自らの表現に活かすことができた。 ②小論文やレポートの基本的な書き方、および発想を広げるための方法を理解し、小論文やレポートを書くことができた ③経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考え、効果的な自己PRができた。 ④漢字の読み書き、言葉の意味等、基本的な事柄を理解できた。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期期末～ 2学期中間 考查	①小論文・レポート入門 5 ②自己PRと面接 表現への扉3 自己を見つめる（生活体験作文） ③詩歌を楽しむ ④「我が町自慢」のパンフレット作り	①レポートの基本的な書き方を理解し、客観的な根拠を集めて説得力のあるレポートをまとめた。 ②意見文の書き方を理解し、実際に意見文を書くことができた。 ③さまざまな詩歌を読み、味わうことを通して、言語文化に対する理解が深まった。 ④情報を適切に編集し、読み手を引きつけるような効果的なパンフレットを作ることができた。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期中間～ 期末 考查	①自己PRと面接・5 ②メディアを駆使する 1・2・3・4 表現への扉4 ③エッセイを書こう ④漢字検定問題練習	①適切な言葉遣いや態度で、質問に対して、具体的で説得のある答え方ができた。 ②さまざまな通信文の形式を理解し、メディアごとに立場や条件が異なり、情報の伝え方が異なることがわかった。 ③着眼点、構成、文体、表現などに留意しながら、さまざまなエッセイを読み味わうことができた。 ④漢字の読み書き、言葉の意味等、基本的な事柄を理解できた。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期期末～ 3学期 学年末 考查	①伝統文化に触れる 小倉百人一首 ②声とコミュニケーション 1・2・3 表現への扉5 ③パロディー物語を書こう ④会話・議論・発表 1・2・3 表現への扉6	①伝統文化に触れながら、短歌の基礎知識を習得した。 ②聞くこと、話すこと、伝え合うことを見つめ直し、コミュニケーションについて新たな発見ができた。 ③「我が輩は猫である」のパロディー物語を読み、表現上の工夫を理解し、著名な小説の表現上の特徴をまねて、パロディー物語を書くことができた。 ④・場面にふさわしい言葉遣いを考えて、適切な言葉遣いでロールプレイをすることができた。 ・文章を読み、考えたことについて議論をしたり、発表をしたりすることができた。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
3学期学年末 考查～年度末	①ディベートで討論する （3年と合同） ③漢字検定問題練習	①ディベートの形式と手順を理解し、実際にディベートを行い、論理的な思考力や討論する力・説得する力・聞く力を身につけることの必要性が理解できた。 ③漢字の読み書き、言葉の意味等、基本的な事柄を理解できた。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D

使用教材 参考図書	高等学校改訂版新編国語表現〔大修館書店〕
学習方法	①導入（漢字確認テスト・前時の確認） ②単元の学習目標（身につける力）の提示 ② 学習の流れの説明 ③ 学習活動（言語活動） ③まとめ（振り返り・自己評価）
評価方法	①査査得点（7割） ②出席状況（関心・意欲・態度含む）、課題・単元小テスト得点、ノート・ファイル（※ワークシート点検は各学期末 査査前に行う）、その他提出物等（3割）